【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公表番号】特表2004-525692(P2004-525692A)
【公表日】平成16年8月26日(2004.8.26)
【年通号数】公開・登録公報2004-033
【出願番号】特願2002-570886(P2002-570886)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｂ　17/58
// Ａ６１Ｌ　27/00
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｂ　17/58
　Ａ６１Ｂ　17/58　　３１０
　Ａ６１Ｌ　27/00　　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成15年11月26日(2003.11.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所与の方向への組織面の伸延及び支持のための装置であって、
　前記組織面の間に同組織面を伸延させる構造体を形成するために、ほぼ前記所与の方向に沿って協働接触状態にある複数の部材を含んでおり、同部材は、前記組織面間に連続的に受け入れられる構造とされ、それによって、前記部材が受け入れられるときに前記構造体を形成するようになされた、装置。
【請求項２】
請求項１に記載の装置であって、
　各部材が接合面を有しており、接触状態にある同部材の接合面は、前記協働接触を提供する構造とされている、装置。
【請求項３】
請求項２に記載の装置であって、
　前記構造体が、各々がほぼ平らな接合面を有している複数のウェーハによって形成されており、一つのウェーハがもう一つ別のウェーハの上に配設されて前記構造体を形成している、装置。
【請求項４】
請求項１に記載の装置であって、
　前記組織面が脊椎内の損傷した又は疾患した椎体の後方面及び下方面であり、前記部材が、前記椎体内に連続的に受け入れられて同椎体の前記後方面と前記下方面との間に前記構造体を形成する構造とされている、装置。
【請求項５】
請求項１に記載の装置であって、
　前記組織面が脊椎内の対向している椎体の後方終板面及び下方終板面であり、前記部材が、前記椎体間に連続的に受け入れられて同対向する椎体の前記後方終板面と前記下方終板面との間に前記構造体を形成する構造とされている、装置。
【請求項６】

請求項１に記載の装置であって、
　前記組織面が損傷した又は破壊した脛骨の面であり、前記部材が、前記面間に連続的に受け入れられてこのような面間に前記柱を形成するようになされた、装置。
【請求項７】
所与の方向への組織面の伸延及び支持のための装置であって、
　協働して前記組織面の間にほぼ前記所与の方向の柱を形成する複数の積み重ね可能なウェーハを含んでおり、同ウェーハの各々は接触面を有しており、一つのウェーハの接触面は、前記所与の方向にほぼ直角な摺動方向においてもう一つのウェーハの接触面上に摺動可能に受け入れられることができるようになされている、装置。
【請求項８】
請求項７に記載の装置であって、
　ウェーハには、同ウェーハが柱から滑り出さないように抑制する相補的な形状が設けられている、装置。
【請求項９】
請求項８に記載の装置であって、
　各ウェーハが、先端縁、後端縁及び２つの横端縁を有しており、ウェーハは、後続のウェーハの軸線方向の移動を制限するために、底面に沿って形成された縁を更に含んでいる、装置。
【請求項１０】
請求項７に記載の装置であって、
　ウェーハが、Ｘ線透視によって観察するための放射線不透過性の材料によって標識されている、装置。
【請求項１１】
請求項７に記載の装置であって、
　各ウェーハが長さ及び幅を有しており、前記柱内の底部のウェーハを規定しているウェーハの長さが、前記柱内の少なくとも一つの他のウェーハよりも長いようになされた、装置。
【請求項１２】
請求項７に記載の装置であって、
　各ウェーハが長さ及び幅を有しており、前記柱内の頂部のウェーハを規定しているウェーハの長さが、前記柱内の少なくとも一つの他のウェーハよりも長いようになされた、装置。
【請求項１３】
請求項１２に記載の装置であって、
　前記柱内の前記底部のウェーハを規定している前記ウェーハの長さが、前記柱内の少なくとも一つの他のウェーハよりも長いようになされた、装置。
【請求項１４】
請求項７に記載の装置であって、
　前記ウェーハがインプラント材料を含んでいる、装置。
【請求項１５】
請求項１４に記載の装置であって、
　一以上のウェーハが、内部に骨充填材を受け入れるための少なくとも一つのオリフィスを有している、装置。
【請求項１６】
請求項１５に記載の装置であって、
　前記ウェーハが、骨誘導剤を更に含んでいる、装置。
【請求項１７】
請求項７に記載の装置であって、
　前記ウェーハが薬剤治療を含んでいる、装置。
【請求項１８】

請求項７に記載の装置であって、
　前記ウェーハの柱の少なくとも一部分を覆っている外側部材を更に含んでいる、装置。
【請求項１９】
所与の方向への組織面の伸延において使用するためのキットであって、
ｉ．互いに接触するようになされた複数の部材と、
ｉｉ．前記部材が、前記所与の方向にほぼ延びている方向において互いに接触状態に配置されるような形態で、前記組織面間に前記複数の部材を連続して挿入するための挿入器と、を含むキット。
【請求項２０】
請求項１９に記載のキットであって、
骨充填材を更に含んでいる、キット。